

東京都革靴製造業最低工賃の推移

				改正発効年月日	平成14年 5月22日	平成17年 5月19日	平成20年 5月22日	平成23年 4月10日	平成26年 4月13日	平成29年 4月26日	令和2年 見送り
業 務	品 目	規 格		工 程 (下記の工程すべてを 行う場合)	金 額						
		革 の 種 類	型及びデザイン								
製 甲	紳士靴	牛革の銀付き又はガラス張り	裏付き、外羽根、無飾り及びひも付き	①甲革の縁すき、縁折り込み又はテープ取り、 ②かかと部の縫いまとめ、 ③裏張り、 ④縁ミシン掛け	569円	573円	596円	622円	653円	699円	699円
			裏付き、無飾り及びヒール付き	①甲革の縁すき、縁折り込み又はテープ取り、 ②えぐり折り込み部への補強テープの挿入、 ③かかと部の縫いまとめ、 ④裏張り、 ⑤縁ミシン掛け	501円	504円	525円	548円	576円	617円	617円
	婦人靴		裏付き、ファスナー付き、はぎ付き（2か所に行うものに限る。）及びヒール付き	①甲革の縁すき、縁折り込み又はテープ取り、 ②上縁折り込み部への補強テープの挿入、 ③ファスナー付け、 ④かかと部の縫いまとめ、 ⑤裏張り、 ⑥縁ミシン掛け	897円	903円	940円	981円	1031円	1104円	1104円
	サンダル		牛革の地生 裏付き、無飾り、前あき、ふち折り、バックバンド及び美錠付き	①甲革の縁すき、縁折り込み又はテープ取り、 ②裏付け、 ③縁ミシン掛け、 ④さらい、 ⑤バンド穴あけ、 ⑥美錠付け	431円	434円	452円	472円	496円	531円	531円
底 付 け (セメントテッド方式によるものに限る)	紳士靴	牛革の銀付き又はガラス張り	裏付き	①中底仮止め、 ②先しん・月型しん入れ、 ③つり込み、 ④起毛、 ⑤シャンク又は中しん入れ、 ⑥本底張付け	483円	486円	506円	528円	555円	594円	594円
			裏付き及びヒール付き	①中底仮止め、 ②先しん・月型しん入れ、 ③つり込み、 ④起毛、 ⑤シャンク又は中しん入れ、 ⑥本底張付け、 ⑦ヒール付け	535円	538円	560円	585円	615円	659円	659円
	婦人靴		裏付き、ヒール付き及びストム付き	①中底仮止め、 ②先しん・月型しん入れ、 ③つり込み、 ④起毛、 ⑤シャンク又は中しん入れ、 ⑥本底張付け、 ⑦ヒール付け	620円	624円	649円	677円	711円	761円	761円
	サンダル		牛革の地生 裏付き及びヒール付き	①中底仮止め、 ②つり込み、 ③起毛、 ④本底張付け、 ⑤ヒール付け	431円	434円	452円	472円	496円	531円	531円

東京都最低賃金の推移

年度	東京都最低賃金改正			東京都革靴製造業最低工賃改正	
	時間額	指数 ※ 1	引上率	改正・見送り	発効日
平成16年度	710円	76.18	-	改正	平成17年5月19日
平成17年度	714円	76.61	0.56%		
平成18年度	719円	77.15	0.70%		
平成19年度	739円	79.29	2.78%	改正	平成20年5月22日
平成20年度	766円	82.19	3.65%		
平成21年度	791円	84.87	3.26%		
平成22年度	821円	88.09	3.79%	改正	平成23年4月10日
平成23年度	837円	89.81	1.95%		
平成24年度	850円	91.20	1.55%		
平成25年度	869円	93.24	2.24%	改正	平成26年4月13日
平成26年度	888円	95.28	2.19%		
平成27年度	907円	97.32	2.14%		
平成28年度	932円	100.00	2.76%	改正	平成29年4月26日
平成29年度	958円	102.79	2.79%		
平成30年度	985円	105.69	2.82%		
令和元年度	1,013円	108.69	2.84%		
令和2年度	1,013円	108.69	0.00%	見送り	-
令和3年度	1,041円	111.70	2.76%		
令和4年度	1,072円	115.02	2.98%		

※ 1 「指数」は、平成28年度の時間額を100として算出。

埼玉県革靴製造業最低工賃

(平成 29 年 4 月 30 日発効)

業務	品目		規格		工程	金額
			革の種類	型及びデザイン		
製 甲	紳士靴		革の種類	裏付き、外羽根、無飾り及びひも付き	甲革の縁すき及び縁折り込み又はテープ取り、かかと部の縫いまとめ、裏張り並びに縁ミシン掛け	699円
	婦人靴	パンプス		裏付き、無飾り及びヒール付き	甲革の縁すき及び縁折り込み又はテープ取り、えぐり折り込み部への補強テープの挿入、かかと部の縫いまとめ、裏張り並びに縁ミシン掛け	617円
		ショートブーツ		裏付き、ファスナー付き、はぎ付き（2か所に行うものに限る。）及びヒール付き	甲革の縁すき及び縁折り込み又はテープ取り、上縁の折り込み部への補強テープの挿入、ファスナー付け、かかと部の縫いまとめ、裏張り並びに縁ミシン掛け	1,104円
		サンダル		牛革の地生	裏付き、無飾り、前あき、縁折り、バックバンド及び美錠付き	甲革の縁すき及び縁折り込み又はテープ取り、裏付け、縁ミシン掛け、さらい、バンド穴あけ並びに美錠付け
底付け（セメントド方式によるものに限る。）	紳士靴		革の種類	裏付き	中底仮止め、先しん及び月型しん入れ、つり込み、起毛並びにシャンク又は申しん入れ並びに本底張付け	594円
	婦人靴	パンプス		裏付き及びヒール付き	中底仮止め、先しん及び月型しん入れ、つり込み、起毛並びにシャンク又は申しん入れ、本底張付け並びにヒール付け	659円
				裏付き、ヒール付き及びストム付き	中底仮止め、先しん及び月型しん入れ、つり込み、起毛並びにシャンク又は申しん入れ、本底張付け並びにヒール付け	761円
				裏付き及びヒール付き	中底仮止め、先しん及び月型しん入れ、つり込み、起毛並びにシャンク又は申しん入れ、本底張付け並びにヒール付け	954円
		サンダル		牛革の地生	裏付き	中底仮止め、つり込み、起毛、本底張付け及びヒール付け

東京都革靴製造業最低工賃

当初発効年月日	昭和48年9月19日	改正発効年月日	平成29年4月26日			
1 適用する 家内労働者	東京都の区域内で革靴製造業に係る業務に従事する家内労働者					
2 適用する委託者	前号の家内労働者に前号の業務を委託する委託者					
3 第1号の家内労働者に係る最低工賃 額	次の表の業務欄、品目欄、規格欄及び工程欄の区分に応じ、1足につき、金額欄に掲げる金額					
業務	品 目	規 格		工 程 (下記の工程すべてを行う場合)	金額	
		革の種類	型及びデザイン			
製 甲	紳士靴	牛革の銀付き又は ガラス張り	裏付き、外羽 根、無飾り及び ひも付き	甲革の縁すき及び縁折り込み又 はテープ取り、かかと部の縫いま とめ、裏張り並びに縁ミシン掛け	699円	
	婦 人		パンプス	裏付き、無飾り 及びヒール付き	甲革の縁すき及び縁折り込み又 はテープ取り、えぐり折り込み部へ の補強テープの挿入、かかと部の 縫いまとめ、裏張り並びに縁ミシン 掛け	617円
			ショートブーツ	裏付き、ファス ナー付き、はぎ 付き(2か所に行 うものに限る。)及びヒール 付き	甲革の縁すき及び縁折り込み又 はテープ取り、上縁の折り込み部 への補強テープの挿入、ファス ナー付け、かかと部の縫いまと め、裏張り並びに縁ミシン掛け	1,104円
	靴	サンダル	牛革の地生	裏付き、無飾 り、前あき、ふち 折り、バックバン ド及び美錠付き	甲革の縁すき及び縁折り込み又 はテープ取り、裏付け、縁ミシン掛 け、さらい、バンド穴あけ並びに美 錠付け	531円
底 付 け (セ メ ン テ ッ ド 方 式 に よ る も の に 限 る。)	紳士靴	牛革の銀付き又は ガラス張り	裏付き	中底仮止め、先しん及び月型しん 入れ、つり込み、起毛並びにシャ ンク又は中しん入れ並びに本底張 付け	594円	
	婦 人		パンプス	裏付き及びヒール 付き	中底仮止め、先しん及び月型しん 入れ、つり込み、起毛並びにシャ ンク又は中しん入れ、本底張付け 並びにヒール付け	659円
				裏付き、ヒール 付き及びストム 付き	中底仮止め、先しん及び月型しん 入れ、つり込み、起毛並びにシャ ンク又は中しん入れ、本底張付け 並びにヒール付け	761円
	靴		ショートブーツ	裏付き及びヒール 付き	中底仮止め、先しん及び月型しん 入れ、つり込み、起毛並びにシャ ンク又は中しん入れ、本底張付け 並びにヒール付け	954円
	サンダル	牛革の地生	裏付き及びヒール 付き	中底仮止め、つり込み、起毛、本 底張付け及びヒール付け	531円	

東京都革靴製造業最低工賃についての用語及び工程の説明

1. 品目

紳士靴 (図A参照)

婦人靴パンプス (図B参照)

婦人靴ショートブーツ (筒の高さがヒールの付け根から15cm前後のもの。図D参照)

2. 規格

(1) 皮の種類

銀付き……牛皮のもつはだ(銀面)をいかして、表面に傷のない皮を選んで塗料を薄く塗って仕上げたもの。しなやかな皮の良さが残っているため、靴以外にも袋もの・ベルト・いす等に用いられる。

ガラス張り……ホーロー引きの板の上で乾燥させてから銀面をサンドペーパーがけして合成樹脂を塗布してプレス仕上げしたもの。一般に銀面はほとんどなくなっているが、丈夫で手入れが簡単なので一般紳士靴・学生靴・カバン等に用いられる。

(2) 型及びデザイン

裏付き……靴を履いたとき甲革が伸びないように、甲革にダブルー(補強布)や裏革を接着剤で貼りあわせてあるもの。

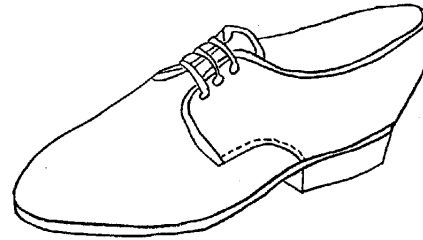
外羽根……ひもを締める部分の開き方の型をいい、別名「とんび」ともいう (図A参照)。

ヒール付き……木またはプラスチック素材の婦人靴のヒールで、底付け作業のときに通常ヒール巻きを伴うもの。

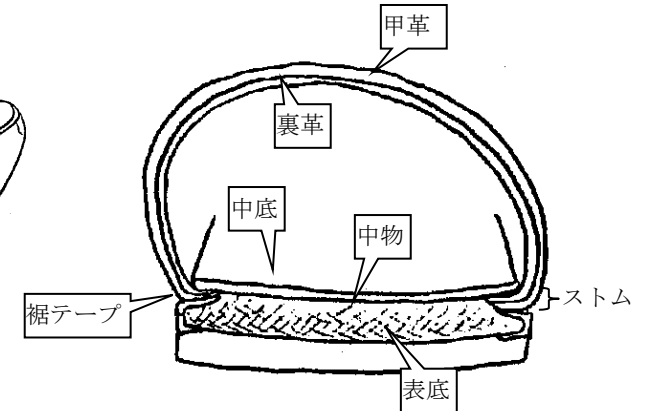
はぎ……甲革を(筒部を含む)を縫い合わせる (図D参照、破線の部分)。

ストム……本底と甲革との間に入れて、靴の仕上げを行うもの (図C参照)。

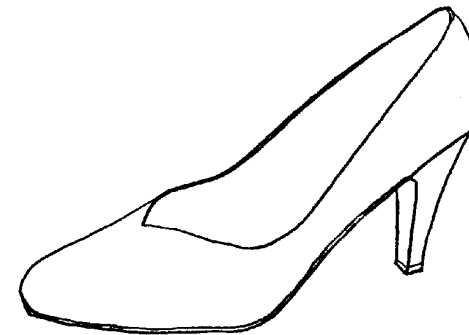
図A 外羽根無飾り



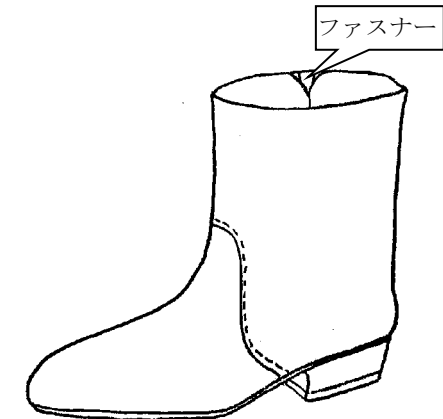
図C 断面図



図B パンプス



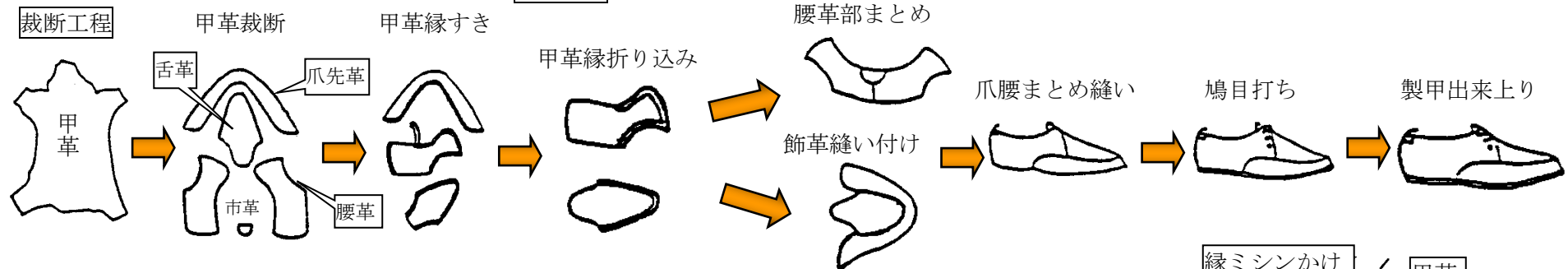
図D ブーツ(一例)



3. 工程

(1) 製 甲

裁断工程

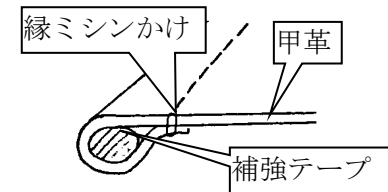


縁すき……………縁折り込みや縫い合わせを容易にするために、甲革の周囲を「すき機」ですく作業。

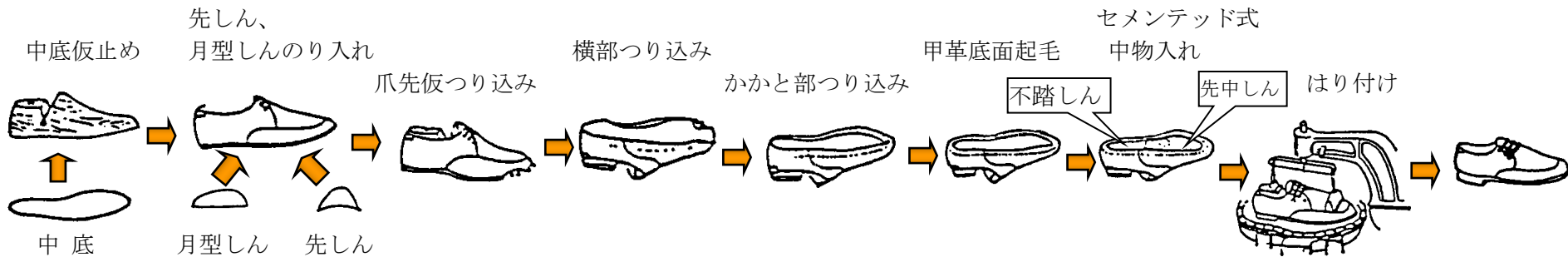
テープ取り……………縁を折り込まないで、甲革の縁をテープ(細革)で押さえる作業。

補強テープの挿入…縁を折り込むときに、甲革が折り込み線に沿って切れないように、折り込み側に補強用のテープを入れる作業。

テープ取りを行う場合にはこの作業は行われ(右図参照)。



(2) 底 付 け



セメントッド…甲革と底を糸で縫い合わせる方式と違い、接着剤を用い方式で加圧密着して貼り合わせる底付けの製法を言う。

中底仮止め…靴の木型底に中底を釘止めし、木型底に付ける作業。

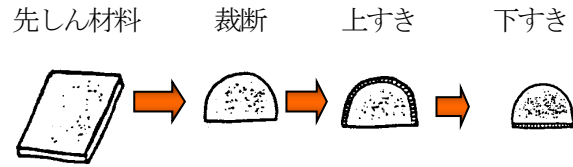
先しん・月型…つり込み作業の前工程で、つり込み部分の銀面をグライNDERで落とし、接着剤を塗り、甲革のつま先に先しん、かかと部に月型しんを、それぞれ甲革と裏革(又は布)の間にに入れて木型にかぶせる作業。

つり込み……………木型にかぶせた甲革がずれないように底部の周辺を伸ばし、周囲を針で仮止めし、甲革の横・つま先・かかとの順につり込んで甲革を木型にあわせる作業。

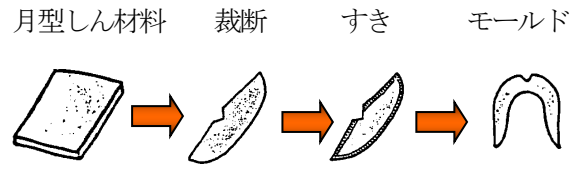
起毛……………接着剤を効率的なものとするために、底面をけば(バッフィング)てる作業。

シャンク……………中底に、靴の背骨ともいべき役割をもつシャンク中しん入れ(ハガネ等でできたバネ)、及び中底を入れる作業。
本底はりつけ…接着剤を塗って一定の時間をおいてから、圧着機にかけて本底を貼り合わせる作業。

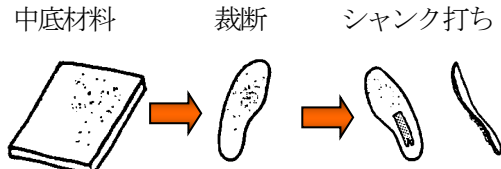
1 先しん作業



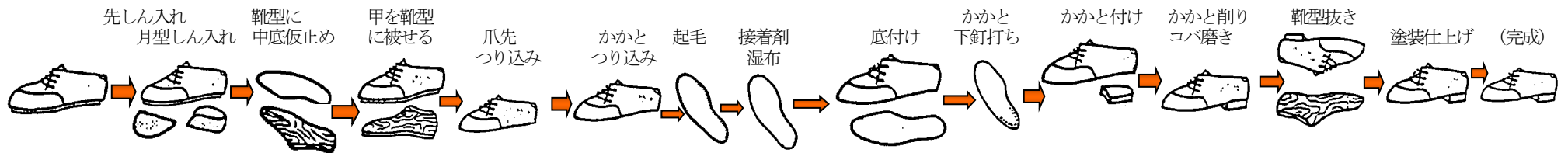
2 月型しん作業



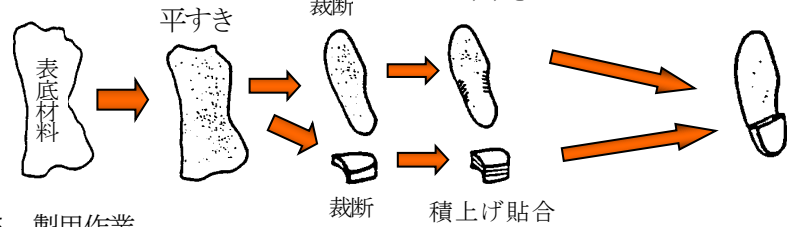
3 中底作業



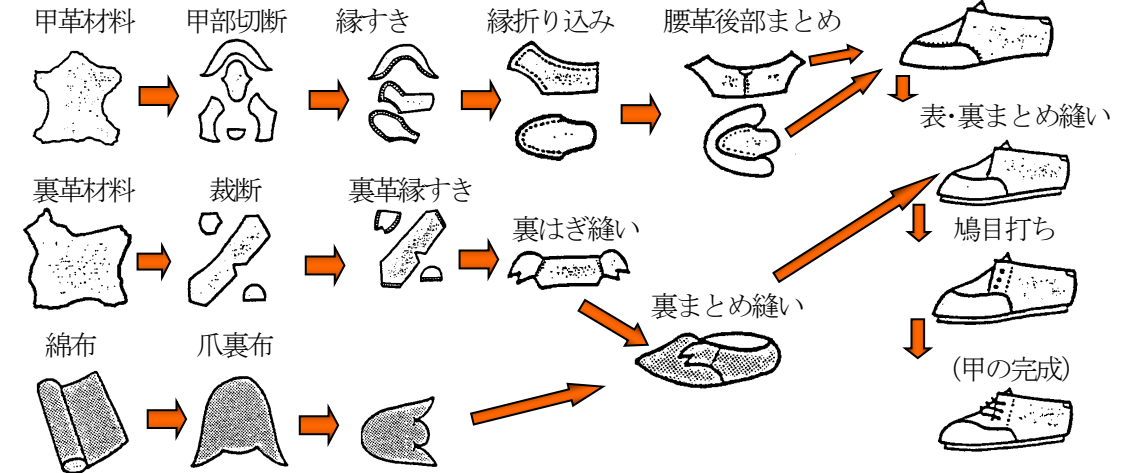
6 底付け作業



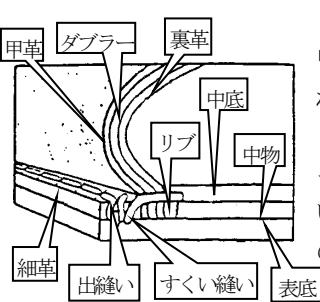
4 表底作業



5 製甲作業

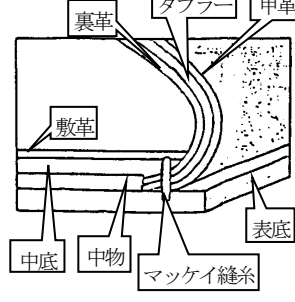


グッドイヤー・ウェルト式



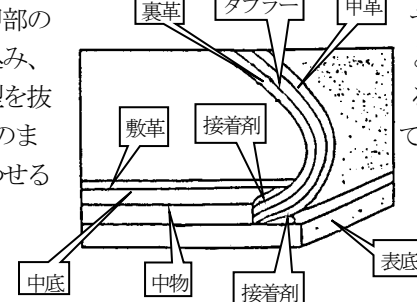
グッドイヤー・ウェルト式とは、中底のまわりに切込みを入れ、これを起し（起したものをリブという）、このリブにつり込みの終わった甲部の端と細革とをすくい縫いで取り付け、次に細革と表底とのまわりを縫い合わせる製法。

マッケイ式



マッケイ式とは、甲部のまわりを中底につり込み、表底を仮張り後、靴型を抜いて表底、甲部、中底のまわりを一緒に縫い合わせる製法。

セメントッド式



セメントッド方式とは、甲部と表底とを、接着剤で接着する製法で現在最も多く使われている。